

(一財) 日本水土総合研究所 岩手セミナー

参加無料

「農業農村整備における ICT技術の活用・推進」

～(株)西部開発農産

清水 一孝 生産部部長による基調講演～

日本の農業は、担い手の減少・高齢化の進行等により労働力不足が深刻な問題となっています。農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人材の確保、負担の軽減が重要な課題になっています。こうした課題に対応するため、ロボット、AI、IoTなど先進技術を活用するスマート農業への期待が高まっています。

このスマート農業の推進のため、農業農村整備において、自動走行農機に対応したほ場の大区画化や水田の水管理を遠隔・自動制御化するほ場水管理システムの導入、また、ドローンによる作物の生育状況把握等を可能とする情報通信基盤の整備等に先進的に取り組まれている岩手県において、「農業農村整備におけるICT技術の活用・推進」をテーマとするセミナーを下記のとおり開催することといたしました。

本セミナーでは、本州最大級の経営面積を誇る(株)西部開発農産の清水一孝生産部部長から、「西部開発農産のICT技術を活用した中山間地における規模拡大に向けた取組」と題して、ご講演いただきます。

また、照井土地改良区の遠藤工務課長から、自ら実践しておられる経験を基に、「土地改良区におけるICT技術を活用した取組支援」と題して、ご講演いただきます。

当研究所からは、「スマート農業推進に向けた基盤整備及び情報通信環境等の検討」について、日頃の研究成果の一端をご紹介します。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の地域農業の振興に資する農業農村整備・農村振興施策の推進の一助となれば幸いです。

日時： **令和4年10月7日(金) 13:30～16:20**

(開場・受付 13:00～)

会場： **岩手教育会館 2F 多目的ホールA**

〒020-0022 岩手県盛岡市大通一丁目1番16号

TEL：019-623-3301

交通アクセス：JR盛岡駅よりバス(でんでんむし)16番から乗車・約10分
左回りにて「盛岡城跡公園」下車。徒歩0分(9:05以降、15分おき)

定員： **50名(会場：定員になり次第締め切りとさせていただきます。)**

<会場定員の50%以下、座席は配置に余裕をもたせます。>

<別途：Web配信(ZOOM)予定>

主催： **一般財団法人 日本水土総合研究所**

プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	(一財)日本水土総合研究所 顧問 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	西部開発農産のICT技術を活用した中山間地における規模拡大に向けた取組 株式会社 西部開発農産 生産部部长 清水 一孝
14:30	質疑(10分)	
(14:40~14:50)		休憩
14:50	講演 (40分)	土地改良区におけるICT技術を活用した取組支援 照井土地改良区 工務課長 遠藤 圭二郎
15:30	質疑(10分)	
15:40	報告 (30分)	スマート農業推進に向けた基盤整備及び情報通信環境等の検討 (一財)日本水土総合研究所 企画研究部長 葭井 功治
16:10	質疑(10分)	
16:20	閉会	

セミナー会場

岩手教育会館 2階 多目的ホールA



講師紹介

株式会社西部開発農産 生産部部长

清水 一孝 (シミズ カズタカ) 氏

【略歴】

昭和49年福岡県北九州市生まれ
岩手大学農学部中退後に、平成11年4月
(株)西部開発農産入社。主に大豆・小麦の畑
作作物の生産に携わる。平成19年にせいぶ
農産ダイレクト株式会社を設立後、平成23
年まで代表取締役を務める。その後、株式
会社西部開発農産に復職して、現在に至る。高
齢化と離農の進む地域農業、毎年増え続ける
農地の管理、多様な人材と向き合い、ICT技
術、スマート農業技術等の活用を模索しなが
らも、他産業に負けない「もの作り」と「ひ
と作り」を標榜する。

注1) 会場参加する場合:「参加申込書」またはその内容をメール(又はFAX)で送付して下さい。

注2) WEB参加する場合:「参加申込書」の内容をメールで送付して下さい。後日「zoom」の接続URL等をメールで返信します。

参加申込書

* 次のいずれかに○印

- 1 会場参加
- 2 WEB参加

所属等	参加者氏名	CPD登録番号
住所 〒		
電話番号		
メール		

申込先

Eメール: koueki@jiid.or.jp 又は03-3502-1329 (FAX)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 管谷、権谷までお願いします(電話03-3502-1387)